

平成22年度第5回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

- [日 時] 平成21年 9月7日(火) 15:00~17:00
- [場 所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
- [参加者] 8名: 上江洲富夫(沖縄県骨髄バンクを支援する会代表)、
三木雅貴(患者)、吉田祐子(患者)、
福本利江子(沖縄県教育庁保健体育課)
高橋 慶行(県立中部病院)、上原忠司(那覇市立病院外科)、
長井 裕(琉大病院産婦人科)、
増田昌人(琉大病院がんセンター)、
- [欠席者] 4名: 島袋勇(PM エージェンシー)、
渡嘉敷 通之(沖縄県保健体育課課長)、
宮里 治、(沖縄県健康増進課成人保健班)、幸地 周(北部地区医師会)、
- [陪席者] 3名: グラクソ・スミスクライン株式会社 松原弘拓屋、後田周一
城間駒生(琉大病院がんセンター)、

協議に先立ち、平成22年度第4回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

【報告内容】

1. 子宮頸がん講演会のアンケート結果について

資料2に基づき、6月、8月に実施した学生向け子宮頸がん講演会のアンケート結果について報告がなされた。その中で全体(3講演中)の過半数の学生が、「HPV(ヒトパピローマウイルス)について知らない」または「HPVワクチンについて知らない」と回答していることが分かった。また、感想としては「講演会開催の重要性や公費負担であればワクチン接種したい」と回答している学生が多く、HPVに対する関心があることが示されていた。長井部会長より、今後は講演会だけではなく、新たな普及啓発活動を思考する必要があると述べ、次年度に向けて新たな取り組みを考える予定である。

2. 「がんかわら版 出前屋」プロジェクト中間実施報告書について

資料3に基づき、三木委員より今年1月より開始した「地域発:がん対策市民協働プログラム がんかわら版 出前屋プロジェクト」のこれまでに終了した半期が中間報告された。今年度のプロジェクトの評価により、次年度への継続または、本プロジェクトとして決定となる。現在の所、三木委員より、既に開始当初に掲げていた目標数値には達しているが、今後の計画も含めて評価してもらいたいと語った。

尚、今後はがん小冊子を作成し、離島圏を中心にフリーペーパーとして、公共施設への設置を予定している。

3. その他

参考資料に基づき、増田委員より、夏休みを利用した「中高生の為のがん研オープンアカデミー市民公開講座」を当部会にて企画してはどうかとの提案があり、次年度の事業計画の参考として検討することとなった。

【協議事項】

1. 高校生を対象としたがん情報啓発キャンペーンがん検診啓発ポスター&ロゴマーク作成コンテストの締切延長と広報について

資料4に基づき、7月より実施しているポスターコンテストの応募締め切りが10月20日(水)迄に延長する事が承認された。9月7日現在まで、応募者不足のため、再度県内にある全高校への再依頼と、グラクソスミスクラインさんよりご協力のもと、公共施設の需要が期待できる場所(ショッピングセンターやコンビニエンスストア、映画館など)へ子宮頸がんワクチンに関するポスターと一組として、掲示を依頼する事が承認された。

3. 次回の部会日程について

事務担当者より10月中で日程調整を行い、メーリングリストにて報告することが承認された。